

あったからこそ、自分を信じることで、最高位の横綱にのぼりつめられたのですね。

弟子を育てる親方として

知事 現役から指導者になられて、お考えや心構えに変化はありましたか？

館長 やっぱり自分の手で立派ない力士を育てたいと強く思うようになりましたね。そのために、自分が現役の時に感じていた「こういうふうにしてくれたらもっと頑張れたのにな」とか「修行の一環なんだろうけどこれは無駄だな」といったところに気を付けて、稽古は厳しいけど、終わったら後は笑いが出て、お互いに「明日も頑張ろう」と思えるような雰囲気部屋にしようと思えました。

知事 三重県では平成33年に国体を開催します。好成績を残すためには、子どもたちをどう育成していくかが重要だと思っています。アドバイザーをただだけませんか？

館長 スポーツに集中できるように、みんなで支援して、設備だとか環境をつくってあげると、いい選手が育ちますよ。

知事 指導者や設備はもちろん、医

学のこととか食のこととか、県民の皆さんのサポートも含めて、県全体が総がかりで応援しなければいけないですね。

三重はいいかい

知事 (財)日本相撲協会の理事長時代は、多くの課題があって、大変なご苦労があったことと思います。

館長 伝統文化である相撲を守らなくてはいけない、と覚悟して理事長を引き受けました。相撲を守るためには、まずファンの皆さんに喜んでいただけるようにする。そしてファンが増えれば協会も含め、相撲界が良くなる。それを考えてばかりで、大変だと思ふ余裕もなかったです。

知事 眠れない夜もあったのでしょうか。

館長 胃がんで療養していた時もありましたが、また今、相撲博物館の館長として、相撲界の役に立てることを幸せに思っています。

知事 最後に県民の皆さんへメッセージをお願いします。

館長 三重県はいいところ、いいものがたくさんあって、東京に三重テラスもできたのですから、日本中からも世界中からもたくさんの方に来

ていただくようになってもらいたいです。それから、相撲の応援もお願いしますね。

知事 毎春、伊勢で行われる「神宮奉納大相撲」をみんな楽しみにしています。私も取組を間近で見え感動しました。しっかり応援しますので、これからも三重県の応援をよろしくお願いします。

対談を終えて

昨年、多くの方が胸を熱くした東京オリンピック・パラリンピックの開催決定。さらに三重県では、その開催前後にインターハイ、国民体育大会、全国障害者スポーツ

大会の開催を予定しており、スポーツのビッグイベントが目白押しです。スポーツを通して県民の皆さんと一緒に三重県を元気にしていくチャンスです。館長のように強い気持ちを持ち続けて、しっかりと取り組みたいと思いました。

また、今年は、熊野古道世界遺産登録10周年を迎えますので、多くの方にお願いしたいと思いますが、館長も「三重県にはいいものいっぱいある」とおっしゃられていました。心からのおもてなしをして、希望と活力に満ちた三重を築くために力の限り尽くしていこうと決意を新たにしました。

(取材 知事 鈴木英敬)



今回お話を伺いました方

いしやま ごろう
石山 五郎さん(相撲博物館館長第57代横綱 三重ノ海)

松阪市出身。昭和23年生まれ。15歳で本名の石山五郎をしご名として初土俵を踏んだ。技巧派力士として頭角を現し、昭和50年11月場所で初優勝し大関に昇進するも、昇進した場所でケガをし3場所で陥落。しかし直後の場所で大関に復帰。その後大関を18場所つとめた後、昭和54年9月場所に第57代横綱となった。昭和55年11月場所を最後に引退した。引退後は、武蔵川部屋を興し、横綱武蔵丸や武双山ら3大関を育てた。平成20年に(財)日本相撲協会理事長に就任。昨年2月に定年退職し、相撲博物館館長に就任した。

第57代横綱 三重ノ海のサイン色紙プレゼント!!

締切日 平成26年1月31日(金)

はがきまたは電子メールで、必要事項を記入の上、応募してください。当選者の発表は色紙の発送をもって代えさせていただきます。

必要事項 名前・住所・電話番号・広報紙を読んだ感想・「サイン色紙希望」を明記

送付先 【郵送】〒514-8570(住所不要) 三重県広聴広報課
【電子メール】koho@pref.mie.jp

問い合わせ先

戦略企画部 広聴広報課

☎ 059・224・2788 FAX 059・224・2032